

合志市社協だより

# ほっとライン

MY HOME KOSHI



災害ボランティアセンター  
社協が災害と向き合う理由

合志市社協は、  
**発災からふだんの暮らしにもどるまで  
 あなたに寄り添います**

初期

**ボランティアに「つなぐ」**

地域の区長や民生児童委員などにご協力をいただきながら、被災状況の確認や地域の困りごと、ボランティアが安全に活動を行えるかなどを把握していきます。  
 災害発生初期段階では、地域の力が大きく落ちているため、外部から応援に来ていただく多数の個人ボランティアや団体ボランティア、NPO法人による復旧活動が力になります。  
 災害ボランティアセンターは被災された方とボランティアとの間に立ち、お互いをつなぐ役割(コーディネート)を担います。



中期

**適切な支援に「つなぐ」**

地域の中で埋もれている困り事はないか、時間の経過によって変化する状況を見逃さないことが必要となります。そのためにも、日頃から地域の状況を把握している民生児童委員や区長と連携し、被災者に寄り添う災害ボランティアセンター運営を心掛けます。  
 また、住民の「困った」に対して適切な支援ができるよう、公的制度など資源の把握に努めます。



後期

**未来に「つなぐ」**

元の生活へ戻る方がいる一方で、時間の経過とともにより生活のしづらさを感じる方もいらっしゃいます。外部のボランティアから地元の住民や団体が中心の支援に移行し、連携・協力しながら長期的に寄り添った支援を行っていくための体制づくりを行っていきます。



ボランティアのみなさんの善意が届くよう、緑の下で支えるのがボランティアセンターの役割です

# 災害ボランティアセンター

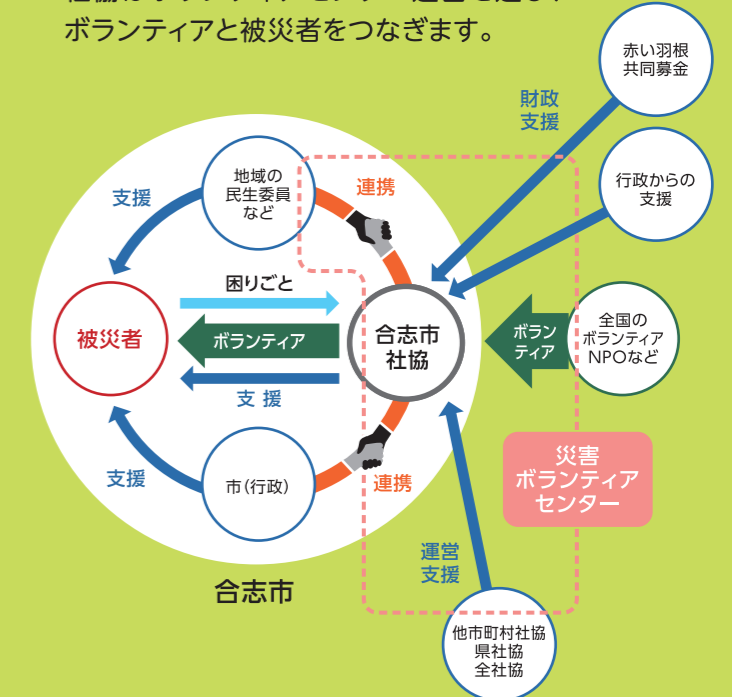
・ 社協が災害と向き合う理由 ・

災害発生時、合志市社会福祉協議会(以下、「社協」)は行政からの要請を受け「災害ボランティアセンター」を設置し、被災者の方の支援に取り組みます。なぜ社協が災害ボランティアセンターを設置するのか——今月は、災害ボランティアセンターの役割についてご紹介しながら、社協が災害と向き合う理由について一緒に考えていきましょう。

## 社協が「災害支援」に取り組む理由

・ 災害ボランティアセンターの仕組みと役割 ・

社協はボランティアセンター運営を通じ、ボランティアと被災者をつなぎます。



社協は地域の皆さんの普段の暮らしの幸せづくりのために日々活動をしています。しかし、ひとたび災害が発生すると、さまざまな困りごとが現れます。  
 社協は、日頃からさまざまな地域福祉活動を展開し、地域の皆さんや多様な機関とのつながりを生かして活動しています。災害発生時にはそのネットワークを生かし、支援に駆けつけていただいたボランティア、NPOや専門家、全国の社協の協力を得て、行政と共に災害ボランティアセンターを立ち上げます。  
 地元を中心とする災害ボランティア活動に見通しが立つと、災害ボランティアセンターは閉所し、「復興支援センター」に移行して、地域の皆さんが日常を取り戻せるようになるまで、引き続き寄り添い続けます。

社協が災害ボランティアセンターに関わる理由は、  
 災害から時間が経っても、最後のひとりまで寄り添い続けるためなのです。

### 合志市と災害時相互応援協定を結びました

令和3年12月、社協と合志市役所は災害時相互応援協定を締結しました。この締結書には、災害発生時に迅速かつ効率的な被災者の生活支援活動を行うことができるよう、災害に備えた日頃からの情報共有・連携方法などが盛り込まれています。この協定により、必要資材等の支援のスムーズな実施や、災害ボランティアセンター運営の円滑化が期待されます。



ボランティアセンターは、社協だけでなく全国・地域の多くの方によって支えられています



## ありがとうございました

次の方々から社会福祉協議会にご寄付いただきました。厚く御礼申し上げます。[7/16~8/15受付分]

**寄贈**  
西合志南中学校つばさ学級1組・2組・3組・4組様  
武蔵野台／山本美代様  
永江団地／家入精磨様  
上須屋／渡邊輝子様

**一般寄付**  
すずかけ台／NPO法人ぽっかぽかすずかけ様  
永江団地／青山洋子様  
武蔵野台／武蔵野台ぽっかぽか様

**香典返し**  
灰塚／緒方武様(故父強様)  
中林／村上裕宣様(故母千里様)  
上生／森義弘様(故父博之様)  
武蔵野台／山本美代様(故母タカノ様)  
原口／齋藤和子様(故夫孝二様)  
鹿水／前田建二様(故父幸助様)  
若原／木下綽様(故母ハルノ様)  
若原／中川那都子様(故夫幸義様)  
生坪／木村敏博様(故母セイ子様)  
群／宮本ムツヨ様(故夫房八様)  
上庄／青木洋治様(故父鶴男様)  
原口／齋藤和広様(故母ハツヨ様)

※このほかに、寄付2件(香典返し1件、一般寄付1件)、寄贈3件ありました

「じぶんの町を良くするしくみ。」

## 赤い羽根共同募金 ご協力をお願いいたします

赤い羽根共同募金が始まります。赤い羽根共同募金は、昭和22年から地域の困りごとを解決するための活動に活かされ続けている募金です。どんな良い取り組みでも、継続的な活動を続けるためには活動資金が必要です。一人一人の善意の積み重ねが、大きな力となりこれらの活動を支えることができます。どうぞ、みなさまのお気持ちをお寄せください。

### 赤い羽根共同募金はこのような活動に活かされます

令和3年度に実施した活動から抜粋してご紹介します

詳細は  
こちら→



#### ぽっかぽかサポート



日常でのちょっとしたお困りごとにお手伝いが必要な方(利用会員)と、お手伝い出来る方(協力会員)をつなぎ、住民同士のつながり作りのきっかけとなる支え合い活動を推進しました。

#### 歳末見守り訪問活動



年末に、民生児童委員と子ども会による、80歳以上のお一人暮らし高齢者を対象とした見守り訪問を実施しました。

#### ふれあいフェスティバル



事業所と熊本高専の協力を得てeスポーツ対戦交流会を実施。ふれあい館と障がい者福祉施設をオンラインでつなぎ、子どもから高齢者まで、障がいの有無に関わらず、白熱した対戦が繰り広げられました。



### 赤い羽根共同募金について

さらに詳しい内容はQRコードから合志市社協ホームページをご覧ください

## 「災害」に備えて ~災害ボランティア担当職員インタビュー~



地域福祉課  
防災士  
林 省吾

私自身平成28年の熊本地震において、合志市災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営に携わりました。いざ自分たちの地元で発災した時、センターの設置から運営をどのように進めていけばいいのかが当時手探りでやっていたことを思い出します。そのような中で、本当に心強かったのは、地元ボランティアの方々です。発災してすぐに多くの若者が「何か手伝いたい」と集まり、センターの設置から手伝ってもらいました。地域の民生児童委員の方々自身も被災されている中で、被災者の情報把握にご尽力いただきました。センター運営を通じて、地元のボランティアの重要性を改めて感じました。さらには行政や企業など、さまざまな関係機関と普段からのネットワークを作っておくことで、発災した際に迅速に動けるのではないかと思います。だからこそ、日ごろからの訓練を大切にしていきたいと思っています。



地域福祉課  
防災士  
黒川 敬士

私は令和2年7月豪雨災害にて人吉市の災害ボランティアセンター立ち上げ・運営に携わりました。センターでは、立ち上げ初日から地元の住民や熊本県内から多くの方がボランティアとして来られており、困っている人のために何かできないかと行動する人の多さに心を打たれました。地元の社協職員自身も被災者でありながら地域のために活動している姿を見て、少しでも災害ボランティアセンターの運営の負担が軽減できるようにと業務に携わりました。社協職員として、被災者一人一人の声にしっかりと寄り添い、被災者が中心となった災害ボランティアセンターの運営をしたいと思っています。そのために、日頃からさまざまなボランティア・団体との連携・協働を行い、いざ災害が起こった時に被災者支援につながっていくよう、地域福祉活動を実践していきたいと思っています。

### 災害への備えは普段から

## 災害ボランティア活動にご参加ください!

災害ボランティアと聞くと、現地に出向き力を使う活動が多いイメージがありますが、実際の活動は、被災者の話を聞くことや募金活動、あるいは被災地域で観光するなど、いろいろな形のボランティアがあります。こんな活動ならお手伝いできる、こんなことをしたらどうだろうかなど、いつでも社協へご相談ください。合志市社協では、いざという時に備えて「災害ボランティア講座」や「災害ボランティアセンター設置訓練」など、日頃からさまざまな活動を行っています。ぜひご参加ください。

#### ・ 災害ボランティア講座 ・

災害発生時に活動する専門家やボランティアを講師に招き、災害が発生した時に備え学びます。

【日 時】10/23(日) 10:00~11:45(9:30受付)  
【場 所】合志楓の森小学校・中学校 地域交流室  
【対 象】合志市にお住いの方  
【申込締切】10/21(金) 17:00まで  
【定 員】25名 【参加費】無料



#### ・ 災害ボランティアセンター設置訓練 ・

災害が発生した時に、被災してお困りの方とボランティアを効果的にマッチングできるよう、災害ボランティアセンターの設置・運営について訓練を行い、運営方法の役割や課題を確認します。

【日 時】10/30(日) 9:15~11:00(9:00受付)  
【場 所】合志市保健福祉センター「ふれあい館」  
【対 象】合志市にお住いの方  
【申込締切】10/21(金) 17:00まで  
【定 員】25名 【参加費】無料



【お問合せ・お申込み】地域福祉課 ☎242-7007

お申込み  
QRコードは  
こちら→



# み・み・よ・り・ひ・ろ・ば

※対象・定員等条件がある場合があります。くわしくはQRコードからホームページ、またはお電話でご確認ください。

最新情報は、  
社協ホームページで  
チェック



## おやこ・こども

### 親子・中高生居場所づくり 「音楽スペース」開放

音楽が好きな合志市在住の親子・中高生が気軽に集まり、ドラムやギターなどの演奏を楽しむスペースです。午前は親子、午後は中高生に開放します。音楽を通して素敵な時間を共有しましょう。

🕒 10/29(土) 10:00～11:30、13:30～15:00

👥 小学生以上の子と親・中高生

📍 ふれあい館

🆓 無料

※ 要申込(前日の正午まで)

📞 こども支援センター ☎242-7008



### 親子で遊べる おもちゃ図書館ひかり

好きなおもちゃで自由に遊んだり、絵本をゆっくり読んだりできる場所です。親子で楽しい時間を過ごしませんか？

🕒 10/24(月) 10:30～12:00

👥 就園前の親子

📍 南ヶ丘福祉支援センターひかり

🆓 無料

※ 要申込

📞 こども支援センター ☎242-7008



## 一般の方

### 10月はふれあいカフェ ありがとうカフェ

認知症の人とその家族だけではなく、地域住民・介護や医療の専門職など、誰もが参加でき、気軽に交流を深められる居場所づくりを目指しています。つながりを作るきっかけができる場所として毎月開催しています。

🕒 10/11(火) 14:00～15:30

👥 どなたでも

📍 ふれあい館

🎫 参加費100円(飲料・菓子代)

※ 要申込

📞 地域福祉課 ☎242-7007



### 日頃の悩みを話しませんか？ 家族のつどい

認知症の人を介護しているご家族を対象に、同じ悩みをもつ方々が介護について今抱えていることや、普段感じている不安を話し、気分を晴らしていただく場所です。お気軽にお問い合わせください。

🕒 10/25(火) 14:00～15:30

👥 認知症の人を介護している方

📍 ふれあい館

🆓 無料

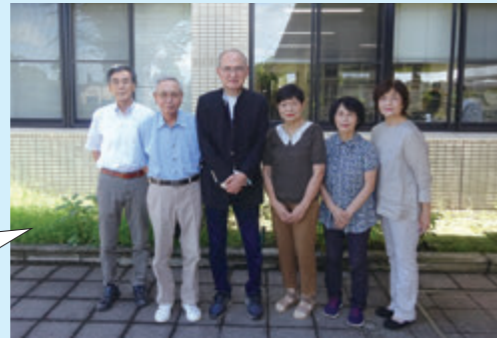
※ 要申込

📞 地域福祉課 ☎242-7007



## 合志市ボランティア連絡協議会 会長挨拶

令和4年度より、合志市ボランティア連絡協議会の会長に就任致しました村山善邦です。まずは、今回退任されました、坂口静枝氏、藤木昭子氏には、長期にわたりご尽力いただき感謝申し上げます。  
新たなメンバーでコロナ禍においても合志市のボランティア会員の交流が図れるように運営を行ってまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。



左から、監事 作野淳一／副会長 白石忍／会長 村山善邦／副会長 小林文子／監事 鎌田典子／会計 田中哲子

- |    |      |     |       |    |    |        |      |
|----|------|-----|-------|----|----|--------|------|
| 対象 | 親子   | 高齢者 | 一般の方  | 内容 | 相談 | お知らせ   | イベント |
|    | 障がい者 | 子ども | どなたでも |    | 募集 | ボランティア |      |

# 社協相談カレンダー



※新型コロナウイルス感染症の影響により、開催について変更及び中止する場合がございます。事前にご確認ください。

10月 2022年(令和4年)

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3 育 南ヶ丘	4 法 弁・民 泉ヶ丘	5 ふ 行・ぼ 南ヶ丘	6	7	8
9	10	11 認 認 ふれあい	12 ふ ぼ／南ヶ丘 法 弁・行相・民 栄	13	14 労 労 ヴ	15
16	17 育 南ヶ丘	18	19 ふ ぼ／南ヶ丘 専 相続／人権	20 法 弁・行相・民 御代志	21	22
23	24 育 南ヶ丘	25	26 ふ ぼ 南ヶ丘	27	28	
30	31	1	2	3	4	5

### 法律行政心配ごと相談所

**法** 市民のみなさんの悩みや心配ごと、専門の相談員が対応します。10:00～12:00／13:00～15:00 (受付時間 9:30～11:30／13:00～14:30)  
当日受付 ☎242-7007

### 専門相談事業(10月は「相続」のこと)

**専** 地域の身近な相談窓口として専門相談を開設しています。10:00～12:00(1組30分) 予約制 ☎242-7007

### ふら～っとホーム太陽

**ふ** 日常生活のお困りごとに、ぽっかぽかサポーター・行政書士が対応します。10:00～12:00  
行政書士相談日のみ予約制 ☎242-7007

### 健康育児相談

**育** 健康や育児に関するご心配、病児保育室の看護師が対応します。10:00～11:20(1組20分)  
予約制 ☎242-7008

### 認知症に関する相談会

**認** 認知症に関する、本人や家族の悩みや心配事、対応などの相談に専門職が応じます。14:00～15:30  
予約制 ☎242-7007

### 社会保険労務士相談会

**労** 年金や社会保険に関する相談ができます。13:30～15:30  
予約制 ☎248-1100

凡例

- 対応専門家 弁=弁護士 司=司法書士 行=行政書士 行相=行政相談委員 民=民生児童委員  
ぼ=ぽっかぽかサポーター 社=社協職員 認=認知症地域支援推進員 労=社会保険労務士
- 会場 御代志=御代志市民センター 泉ヶ丘=泉ヶ丘市民センター 南ヶ丘=南ヶ丘福祉センター 輝き館ひかり 栄=栄市民センター みどり館 ふれあい=合志市保健福祉センター ふれあい館 須屋=須屋市民センター 人権=人権ふれあいセンター 野々島=野々島市民センター ヴ=ヴィーブル

### 社協の相談窓口【開設時間】平日8:30～17:30

相談内容	相談拠点	電話番号	所在地
福祉全般・ボランティアのこと	ふれあい館	242-7000	合志市須屋2251-1「ふれあい館」
高齢者・認知症のこと	合志市地域包括支援センターサブセンターふれあい館		
子ども・子育てのこと	こども支援センター	242-7008	
障がいのこと	障がい者支援センター	242-2271	合志市須屋2540「れんがの家」
くらしのこと	生活支援相談センター	248-1100	合志市福原2922「ヴィーブル」



つながる愛・地域の愛・合志の愛  
～あい♡まるごととどけます～

# ふれあいフェスティバル2022

コロナ禍でもみんなが笑顔でつながり、合志の未来が明るくなるきっかけづくりとして、今年も開催します！みなさんも参加してみませんか？

開催決定！  
参加者募集

開催日 11月20日(日)

場所 ふれあい館

★フェスティバルの詳細内容は次号(11月号)でご紹介します！

募集  
1

## 盲導犬 ふれあい体験



盲導犬は、目の不自由な人が、行きたいところへ自分で行けるように安全に歩くためのお手伝いをしています。大切なパートナーであり、家族の一員である盲導犬のお仕事ってどんなことをしているの？どんなふうに住んでいるんだろう？盲導犬と触れあいながら、盲導犬や盲導犬訓練士について学んでみませんか？目の見えない人・見えにくい人・盲導犬の利用を考えておられる方も、お気軽にご参加ください。

【時間】10:00～11:30

【定員】30名

【申込方法】電話／Googleフォーム

※応募多数の場合は抽選



募集  
2

## ボッチャ・eボッチャ 対戦交流



パラリンピックの種目にもなっている「ボッチャ」。本フェスティバルにおいても、誰もが楽しめるスポーツとして、体験、対戦交流を開催します。ぜひこれを機会に、ボッチャの魅力に触れてみませんか？国体出場選手と試合ができるかも!?!?

【時間】10:00～12:00

【定員】12名

【申込方法】電話／Googleフォーム

※応募多数の場合は抽選



**ボッチャとは?** ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

国体出場選手 古川幸太氏



募集  
3

あなたの写真が「あいまる」になる!?

## あいまるモザイクアート

合志市社協公式キャラクター「あいまる」の誕生1周年を記念して、みなさんから「愛」をテーマとした写真を募集します。集まった写真を使い、あいまるを原画にしたオリジナルモザイクアートを制作し、フェスティバル当日にお披露目いたします。

**募集内容** フェスティバルテーマに関連する写真を募集します。  
例)笑顔の写真、思い出の写真、友達と撮影した日常の写真など

フェスティバルテーマ: 「つながる愛・地域の愛・合志の愛 ～あい♡まるごととどけます～」

**応募方法** ①郵送の場合: 写真を同封の上、住所、氏名、年齢、電話番号、メールアドレス(任意)を別紙に記入し、下記の住所に郵送してください(写真の返却はいたしません)  
【郵送先】〒861-1102 合志市須屋2251-1 合志市保健福祉センターふれあい館「あいまるモザイクアート」係

②メールの場合: 本文に住所、氏名、年齢、電話番号、メールアドレスを記入し、写真(容量3MB以内)を添付して下記メールアドレスに送ってください。【送信先e-mail】info@koshi-shakyo.or.jp

**ご注意** 応募される方は、必ず右記QRコード先の「あいまるモザイクアート留意事項」をご一読ください。応募した時点で、本留意事項に同意したものとします。



みなさんの「愛」が集まってあいまるになります!

すべての募集に関する  
お申込み・お問合せ先

☎242-7000

募集期間: 9月22日(木)～10月31日(月)

●今月は「社協のえんがわ」はお休みです

お問合せ 社会福祉法人 合志市社会福祉協議会 ☎242-7000 (代)



- ふれあい館 ☎242-7000
- ヴィーブル生活支援相談センター ☎248-1100
- このみ坂保育園 ☎247-6630
- 南ヶ丘福祉支援センター 輝き館ひかり ☎288-2240
- 障がい者支援センター れんがの家 ☎242-2271

